芝

6画

一 十 艹 艹 芝 芝（とめてはらう）

くんよみ しば　おんよみ

なりたち 艹（くさかんむり）と之（し）との形声字で、芳香を放つ、昔から〝神芝（しん）〟とか〝霊芝（れい）〟と呼ばれる瑞草（ずい）（めでたい草）を表した字。わが国では〝しば〟といって庭園に植え付ける葉の細長い草のこと。

いみとじゅくご ▼芝。イネ科の多年草。芝生…芝を一面に植えてある所。芝刈り…芝を刈ること。例芝刈り機。芝居…❶演劇。（昔、芝生の上に座って見たことから。）例芝居小屋 ❷人をだますための作り事。用例一芝居打つ。芝居気…❶人前で目立ちたがる気持ち。❷人を驚かすような魂胆。

さんこう 特別なよみかた→芝生

芝華

華

10画

一 艹 芒 苹 華 華（ながく）

くんよみ はな　おんよみ カ・ケ

なりたち 旧字体は華。花房の垂（垂）れた形を表した雩と艸（さく）との会意形声字。〝草の花・草花〟という意味の字だが、今は草木に関係なく用いられる。転じて、〝華やか（盛んに美しい）〟の意味に用いる。

いみとじゅくご ▼花。華道…花や木を器に活（い）けて飾りとし、また、精神の修養を図る芸道。▼華やか。華美…華やかで美しいこと。用例華美な服装。華麗…華やかで麗しいこと。用例華麗な演技。豪華…華やかでぜいたくな様子。例豪華版（造本が特別立派な本。また、特別ぜいたくなこと。）栄華…大きな権力や富を握って栄え、豪華に暮らすこと。▼中国の美称。中華…自分の国を、世界の中心で最も優れた国と見なして呼ぶ称。特に漢民族が自分の国をさしたことば。

よみかた 華氏・香華・散華・精華・繁華

茶

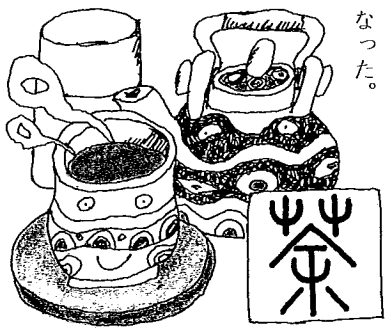
【2年】

9画

一 艹 艹 艹 艹 苓 苓 茶（とめる）

くんよみ おんよみ チャ・サ

なりたち 古い字は𦵏。艹（くさかんむり）と余との形声字。〝余（た）〟という草、の意味の字。別に、余（途）と艹との形声字の茶（と）（苦菜）があり、区別するために一画減らして〝茶〟となった。



いみとじゅくご ▼茶の木。茶摘み…茶を作るため、茶の新芽を摘むこと。▼茶。茶の新芽や若葉を摘んで蒸し、乾燥させて作る飲み物。新茶…その年に出た新芽を摘んで作った茶。番茶…摘み残した堅い葉で作った、品質の良くない茶。喫茶…茶を飲むこと。例喫茶店。茶菓…茶と菓子。▼茶を飲む作法。茶の湯。茶道…茶をたてて飲み、その中で精神の修養を図る芸道。▼茶色。茶褐色…黒みがかった茶色。▼おどけ。茶番…❶身振りで、こっけいなことを演じて見せる演劇。❷底の浅い見え透いた物事。

茶芋

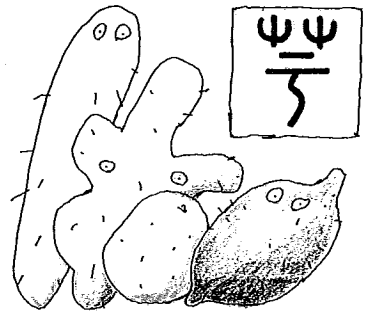
芋

6画

一 艹 芒 芋（はねる）

くんよみ おんよみ いも

なりたち 古くから誇る意味の亏（う）と艹（くさかんむり）とで、根も葉も実も誇るほど大きい〝里芋〟を表したのだといわれるが、単に、亏（干）と艹との形声字と見てよい。〝干（う）〟という名の植物を表した字。



いみとじゅくご ▼芋。山芋…やまのいも。山野に自生し、根は円柱形で長く太い。とろろなどにして食べる。自然薯（じねんじょ）ともいう。長芋…やまのいも科の多年生つる草。畑でも栽培する。親芋…里芋の根のうちで一番大きいもの。芋頭。種芋…土に埋めて発芽させるための芋。芋刺し…里芋を竹の串（くし）で刺すように、人を槍（やり）で突き刺すこと。芋版…サツマイモなどの芋を切って字などをほり、木版画のかわりにしたもの。

よみかた 焼き芋

さんこう 芋蔓式（いもづる）＝芋蔓をたぐると次々に芋が出て来るように一つの事から、次々と新しい事が出て来ること。